

# 田んぼには いろんな生き物がいる

いつも見慣れた何気ない田んぼ。そこには、沢山の生き物が生息している。

山形市内の住宅地に程近い、とある田んぼに行ってみると、いきなりキジと遭遇。すかさず、カメラを構えたが、上手とは言えない飛び方で逃げられてしまう。

## ちよつとした動物園

田んぼや用水路を覗いてみると、定番のカエル、オタマジャクシ、ドジョウ、タニシを発見。シマヘビもニヨロニヨロ。周りを見渡すと、少し離れたところに、カモとアオサギも発見。ちよつとした動物園状態である。アオサギは、ここ数年で、よく見られるようになった。

この背景には、低農薬、低化学肥料などの環境に配慮した営農や

環境を保全する活動が、増えてきたことが挙げられる。こういった取組みが増えれば、田んぼの生き物は、もっと多様になるだろう。しかし、こういった取組みは農家にとって効率のいい作業とは言えず、コストがかかる。

**お米を食べることが大切**  
田んぼの景色や環境を守るためには、消費者の協力も必要となってくる。簡単に言うと、お米を食べること。米の価格に、環境保全の価値（環境農業を取組んだ場合の割増コスト）が含まれていると、思っ、少しくらい高くても購入すること。

この理解を深めるためにも、子どもと一緒に田んぼに出かけてみませんか。楽しみながら、田んぼの大切さが実感できるから。



## ミジンコ

ゴマ粒みたいなのがミジンコ。生き物の死がいなどを食べて、水をきれいにしてくれる。



## ナツアカネ

## カルガモ

マガモのメスと体色が似ているが、くちばしの先が黄色かどうかで区別できる。黄色だとカルガモ。



## ドジョウ

泥の中でも生き残るので、多くの田んぼや水路で見つけることができる。



## アオサギ

近年見かけることが多くなった。田んぼの生態系では頂点に位置する。サギ類は水辺環境の豊かさを知る指標。



## トノサマガエル

## アカハライモリ

里山の田んぼで見つけることができる両生類。腹の赤黒模様で毒を持っていることを知らせている。



## 田んぼで遊ぶ時の注意

田んぼや水路にゴミを捨てない荒らさない

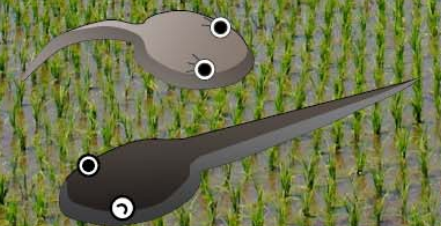
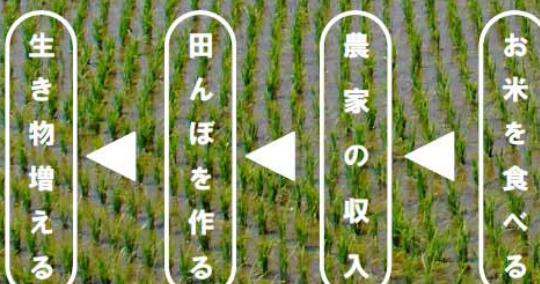
田んぼや水路は、農家や地域で管理しています

子どもだけで遊ばせない

ため池や排水路は深く危険です

# 夏の田んぼに出かけてみよう

## いろんな生き物 = 生物多様性



夏の田んぼに出かけてみよう